



往還通信



往還風景

往還まつり

9月20日

台風でお天気の方もどうなるかと心配していましたが、絶好のお天気にめぐまれ往還まつりを開催することができました。

ボランティアの方々に、すばらしい演奏や踊りを披露していただき利用者様やご家族様にも喜んでいただき、無事始めての往還まつりを終える事ができました。本当に、ありがとうございました。



職員がみたらしや焼きそばを焼いたり、クレープ作りと大忙の中、理事長の開会の挨拶のもと、いよいよまつりのはじまりです。



朝日中学校プラスバンド部の皆さんにオープニングを飾っていただき、アロハフラクラブ、白梅太鼓、盆踊り保存会、サンライズのボランティアの方々がまつりに花を添えて下さいました。



たくさんのご家族の方や御来賓の方に来ていただき大にぎわいでした。



10月の施設行事

1日(水) バイオリン演奏
(大森先生)

14日(火) 音楽療法
3階、ショート対象

15日(水) 音楽療法
2階、ショート対象

曲目：里の秋

10月のクラブ活動

3日(金) 太極拳

2日(木) 書道クラブ

16日(木) 書道クラブ

31日(金) お花クラブ

敬老会

9月15日



朝日町さわやか村の敬老会で、往還入所者様が米寿(88歳)・喜寿(77歳)・白寿(99歳)・100歳のお祝いをしていただきました。

今月は桜ユニットの紹介です



お彼岸なのでぜんざいを作りました。中に入れるお団子を丸めてさあできあがり！なかなかおいしいと好評でした。



インフルエンザについて



急に寒くなってきました。もうすぐインフルエンザの季節になります。ここ数年まえから鳥インフルエンザの流行があり、また死亡者が60万人を超すとさえも言われている新型インフルエンザの大流行があるあると言われて医療関係者は情報の収集に追われています。インフルエンザウイルスの特徴から、近いうちに新型が登場することはほぼ間違いないと言われていますが、これを完全に防げないのであれば健康被害と社会の混乱を最小限にする準備をしておく必要があります。

対策はワクチンですが、流行しているウイルスに対するワクチンでなければ効き目は期待できません。WHOは毎年2回流行しそうなワクチンを選定しており日本も有効なワクチンを提供しています。季節的なインフルエンザに対してのワクチンの効果は認められており、日本においては高齢者における発病予防効果は34-55%、死亡回避は80%以上であり、積極的に接種することが流行の予防になることが証明されています。ただ毎年インフルエンザは流行するタイプが少しずつ異なるので毎年ワクチンの予防接種が必要になります。新型のインフルエンザはタイプが大きく変わるものですから予防的なワクチンが作れないのです。新型のインフルエンザに対する研究とワクチン開発はいくつかの国で行われていますが、大流行したときには生産が間に合わないとされており、新型のインフルエンザに対しては水際の予防（おそらく東南アジアで流行が起こってから日本に入ってくると予想されています）と感染予防がとても重要な事になります。

予防の一番は手洗いです。外出したときには必ず手洗いをすることを習慣にしてもらうだけでかなり効果は期待できます。風邪が気になったらうがいとマスクも忘れずに。

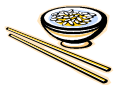
こめだ腎・泌尿器科 米田 勝紀

編集部より

心配していた台風もすぎ、お天気にもめぐまれ皆様のおかげで無事往還まつりを終える事ができました。往還職員もこの日のためにポスター作りや舞台の配置決め材料の買い出し等準備をして参りました。利用者様のご家族様より「本格的なまつりですねえとか、たのしかったわ、ありがとうございました」とのお声をいただき大変ありがたく感謝の気持ちで一杯です。今後も皆様に喜んでいただけるよう職員一同がんばって行きたいと思えます。



栄養士より



大好きなうなぎ丼ならおせすることなく残さずに食べられる方や、大好きなお寿司なら刻まなくても上手く食べられる方が、利用者様の中におみえになります。普段とは違った速さ、食事形態、食事量で、喜ばれながらめしあがるお姿に、大変驚かされます。同時に、食事を楽しむこと、好きな食べ物の力の偉大さを、改めて実感することができます。11月の特別食としましては、おやつバイキングを予定しております。甘い物がお好きな利用者様は大勢いらっしゃいますので、ケーキやおまんじゅうなどを選んでもらい、楽しんでいただきたいと思っております。今後も、気持ちの活性化につながるような食事の提供を考えていきたいです。

敬老の日の昼食



赤飯
天ぷら盛り合わせ
甘鯛の菊花蒸し
無花果の赤ワイン
茶そばの吸い物
柿なます

栄養士 宮本 奈由美